
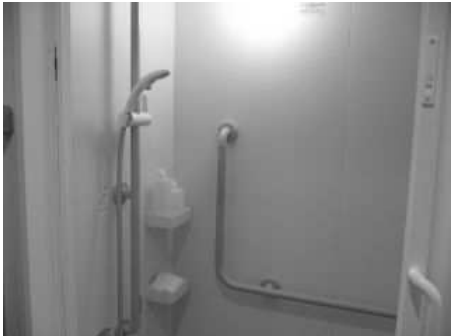

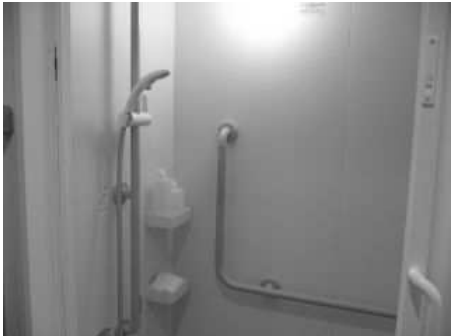



# 課題シート

## リスクマネジメント・アセスメント

■ヒヤリハット事例／訪問介護 入浴介助中の座り込み			
<p>利用者の状況</p>	<p><b>A様 65歳 男性</b></p> <p>要介護度／3 （長期にわたり障害福祉制度を利用してきた）</p> <p>既往歴／高次脳機能障害          頭部外傷による右上肢機能全廃          体幹機能障害（起立困難）</p> <p>ADL／【歩行】不可                      【食事】自立                    【動作】座位可                    【入浴】全介助                    【排泄】全介助                    【着脱】一部介助                    【会話】大きく難                【整容】一部介助</p> <p>認知等の生活障害／なし                寝たきり度／A-2</p> <p>車いす生活だが、横になっていることが多い</p> <p>自宅での入浴は、ヘルパーの介助で居室内設置のシャワーを使用</p> <p>同居の母親が家事、高齢で、交通事故により左腕にしびれあり</p>		
<p>サービス利用状況</p>	<p>介護保険／訪問介護（排泄、入浴、外出）、通所介護、短期入所          障害福祉／移動支援</p>		
<p>発生状況          及び          発生時の対応状況          （報告書より抜粋）</p>	<p>（状況） 入浴介助時、いつもなら、ご自分でタイミングと位置決めをされて、手すりをもってシャワーキャリーから立ち上がって下さるが、ご自身のタイミングと合わずに立ち損ねる。</p> <p>座ろうとされるも、シャワーキャリーに座り損ねてずると床面にお尻がつくという事態が発生した。</p> <p>手すりから手を離されなかったので、ドンとお尻が落ちずに、ゆっくりと床面にお尻がついた状態となった。</p> <p>（対応） ご自身で手すりをしっかりと持って頂き、左足を踏ん張ってもらって、ヘルパーが体の後ろから脇に手を入れ、抱きかかえてシャワーキャリーの座面までお尻をあげて座っていただいた。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="517 1630 836 2009"> <p>シャワーキャリー</p>  </td> <td data-bbox="836 1630 1355 2009"> <p>シャワールーム</p>  </td> </tr> </table>	<p>シャワーキャリー</p> 	<p>シャワールーム</p> 
<p>シャワーキャリー</p> 	<p>シャワールーム</p> 